

【個別票】

所管所属	会計課
------	-----

1 施設の概要

施設名称	松浦市役所	施設面積	7,992.65 m <sup>2</sup>
所在地	志佐町里免365	建設年度（耐用年数）	1981 年度（50年）
複合施設名	なし	構造・階数・耐震	鉄筋コンクリート造5階ほか
特記事項	なし		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ 型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	大規模改修を実施
「基本的な方針の考え方」		
ハード面は、エレベーター以外、建築当初から更新が未実施である。耐震性への対応、空調機器等大規模な改修を行う。		

※集約・複合化の検討について

特になし

※公民連携の検討について

特になし

※民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後25年以上使用 】

建築からの耐用年数に加えその後の20年（2051年）を目標とする。

4 管理に関する実施方針・課題等

昭和56年11月に建築したものであり、耐震未対応、空調機、放送機器、自動ドア等の不備が発生している。耐震性に対応するための整備に加え空調機器の全面改修を実施する。その際は、長寿命化や維持管理費の削減を検討する。また、それまでの間は不備の発生時に随時修繕等を実施し、業務に支障をきたさないようにする。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)	耐震・空調改修基本設計	40,000	
	耐震・空調改修実施設計	40,000	
後 期 (R 8 - R 1 2)	耐震・空調改修工事	800,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支 出】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備 考
保守コスト	14,772	16,848	16,086	
運用コスト	17,896	19,627	19,477	
修繕コスト	2,262	3,600	5,814	
その他	4,880	36,895	1,226	29年度エレベーター改修35,964,000円
合 計	39,810	76,970	42,603	

【収 入】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備 考
利用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	

【利用者等】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備 考
利用者数				調査値なし
その他				

【個別票】

所管所属	鷹島支所
------	------

1 施設の概要

施設名称	鷹島支所	施設面積	1,696.57 m <sup>2</sup>
所在地	鷹島町中通免1718番地2	建設年度（耐用年数）	1974 年度 （50年）
複合施設名		構造・階数・耐震	RC造一部S造・地下1地上2・耐震未
特記事項	大規模改修実施等に伴い見直しを行った。		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	建替えによる集約化（主）を検討	

「基本的な方針の考え方」

鷹島支所複合庁舎等ゾーニング計画

市有地である旧松浦高等学校鷹島分校跡地を活用し、鷹島支所・公民館の複合庁舎建設を検討する。

※集約・複合化の検討について

支所と公民館の集約・複合化を検討する。

※公民連携の検討について

特になし

※民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後10年以上使用 】

大規模改修を実施後、可能な限り使用する。  
機能を維持するために最小限の修繕を実施する。

4 管理に関する実施方針・課題等

昭和50年度の建設した物件で、老朽化が著しく、窓の開閉が出来ない、多くの箇所からの雨漏り(特に2階集会所部分)、空調機設備が旧式の為維持管理費の縮減が出来ない、また、建物の耐震基準を満たしていないなどの問題があったが、令和3年度大規模改修により管理上の緊急的な問題は解消された。しかし、耐震基準及び建物全体の老朽化に伴う問題はなお継続中である。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)	大規模改修 (R 3)	29,018	屋上、1・2F天井内壁等
後 期 (R 8 - R 12)			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支 出】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備 考
保守コスト	470	470	471	
運用コスト				
修繕コスト	39	80	400	
その他				
合 計	509	550	871	

【収 入】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備 考
利用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	

【利用者等】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備 考
利用者数				
その他				

【個別票】

所管所属	福島支所
------	------

1 施設の概要

施設名称	福島支所	施設面積	1,539.37 m <sup>2</sup>
所在地	福島町塩浜免2944番地3	建設年度(耐用年数)	1958年度(50年)
複合施設名	なし	構造・階数・耐震	RC造・2階建て・耐震未
特記事項	松浦市地域防災計画：松浦市災害対策福島現地本部(福島支所)		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	統合	建替えによる集約化(主)を実施	

「基本的な方針の考え方」

- ・耐震診断(H30)を実施した結果、建物本体の鉄筋コンクリート造及び鉄骨造部全体が判定指標値を満足しないことから、耐震化工事が必要となる。
- ・建築後61年を経過し老朽化が著しいことから、福島公民館と集約化して移転建て替えを行う。
- ・移転先地として、隣接する旧福島小学校跡地を予定。

※集約・複合化の検討について

福島支所については、同様に老朽化している福島公民館との集約化を図るとともに、消防本部福島出張所機能を含めた複合庁舎の検討・協議を進め、移転・新築する。

※公民連携の検討について

特になし

※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後5年程度使用 】

- ・建替えまで可能な限り現状で使用する。
- ・機能を維持するための必要最小限の修繕を実施する。

4 管理に関する実施方針・課題等

- ・可能な限り現状で使用しながら必要最小限の修繕を実施する。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)	基本設計、地質調査	20,000	
後 期 (R 8 - R 1 2)	実施設計	20,000	
	建設工事（既存支所、公民館及び消防署福島出張所）	587,000	
	解体工事（既存支所、公民館及び消防署福島出張所）	110,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支 出】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備 考
保守コスト	508	508	508	
運用コスト	2,427	2,628	2,302	
修繕コスト	3,342		217	
その他			1,773	耐震診断委託業務
合 計	6,277	3,136	4,800	

【収 入】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備 考
利用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	

【利用者等】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備 考
利用者数				
その他				

【個別票】

所管所属	会計課
------	-----

1 施設の概要

施設名称	市民福祉総合プラザ（すこやか青プラザ）	施設面積	2,631.39 m <sup>2</sup>
所在地	志佐町里免365	建設年度（耐用年数）	2020 年度（50年）
複合施設名	保健センター、老人センター、社会福祉協議会	構造・階数・耐震	鉄筋コンクリート造4階
特記事項	特になし		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	A	型	耐用年数経過前
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施	
「基本的な方針の考え方」			
適正な維持管理に努める。			

※集約・複合化の検討について

特になし
------

※公民連携の検討について

特になし
------

※民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

特になし
------

※国・県協働の検討について

特になし
------

3 目標使用年数 【 今後50年以上使用 】

耐用年数を目標使用年数とする。
-----------------

4 管理に関する実施方針・課題等

目標使用年数まで、機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理に努める。
--------------------------------------

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属	福島支所 地域振興課
------	------------

1 施設の概要

施設名称	和船等保管庫	施設面積	103.66 m <sup>2</sup>
所在地	福島町塩浜免2969番地5	建設年度（耐用年数）	2006 年度（24年）
複合施設名	なし	構造・階数・耐震	軽量鉄骨造・平屋建て・耐震未
特記事項	松浦市地域防災計画：記載なし		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施	

「基本的な方針の考え方」

- ・本施設は和船ろ漕ぎ大会で使用する和船（11隻）の格納庫であり、和船の良好な状態の保持に必要な施設であるため、機能保持のための修繕を実施しながら存続させる。
- ・当施設は平成5年に新築され、平成18年11月に民間から松浦市へ寄付を受けたもので、建築後27年を経過し老朽化が著しい。

※集約・複合化の検討について

特になし

※公民連携の検討について

特になし

※民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後5年以上使用 】

- ・可能な限り現状で使用する。
- ・機能を維持するための必要最小限の修繕を実施する。

4 管理に関する実施方針・課題等

- ・可能な限り現状で使用しながら必要最小限の修繕を実施する。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属	消防本部
------	------

1 施設の概要

施設名称	第1分団消防詰所格納庫 駅通	施設面積	100.60 m <sup>2</sup>
所在地	御厨町里免352番地1	建設年度(耐用年数)	1996 年度 (50年)
複合施設名		構造・階数・耐震	鉄筋コンクリート平屋・耐震有
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ソフト面ハード面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」		
当面は現状のままで必要に応じて修繕する		

※集約・複合化の検討について

特になし

※公民連携の検討について

特になし

※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後25年以上使用 】

可能な限り現状で使用する

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属	消防本部
------	------

1 施設の概要

施設名称	第1分団消防詰所格納庫 市場	施設面積	31.88 m <sup>2</sup>
所在地	御厨町里免871番地1	建設年度(耐用年数)	2017 年度 (24年)
複合施設名		構造・階数・耐震	木造平屋 耐震有
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I 型	ソフト面ハード面とも良好
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」		
当面は現状のまま、必要に応じて修繕する。		

※集約・複合化の検討について

特になし

※公民連携の検討について

特になし

※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後25年以上使用 】

可能な限り現状で使用する

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
消防格納庫は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

## 【個別票】

所管所属 消防本部

## 1 施設の概要

施設名称	第3分団消防詰所格納庫 星鹿	施設面積	110.52 m <sup>2</sup>
所在地	星鹿町岳崎免2416番地4	建設年度（耐用年数）	1977 年度 （30年）
複合施設名		構造・階数・耐震	軽量鉄骨造 2階 耐震無
特記事項			

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ 型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施、詰所機能の統合を検討
「基本的な方針の考え方」		
耐震化を実施する必要があるが、当面は現状のままで必要に応じて修繕する。		

## ※集約・複合化の検討について

分団統合により、詰所・格納庫等の集約も検討する

## ※公民連携の検討について

特になし

## ※民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

特になし

## ※国・県協働の検討について

特になし

## 3 目標使用年数 【 今後5年以上使用 】

耐用年数が経過しているが、機能を維持するための必要最小限の修繕を実施し、大規模修繕による建物の長寿命化や建て替え等を総合的に検討する。

## 4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
 大規模な修繕が必要となった場合は、周辺分団詰所との統合移転等も検討していく。  
 消防団詰所は、無人となるため盗難対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属 消防本部

1 施設の概要

施設名称	第3分団消防詰所格納庫 川原辺田	施設面積	49.00 m <sup>2</sup>
所在地	星鹿町岳崎免2601番地2	建設年度(耐用年数)	1978 年度 (41年)
複合施設名		構造・階数・耐震	コンクリートブロック造 平屋 耐震無
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ 型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施、詰所機能の統合を検討
「基本的な方針の考え方」		
耐震化を実施する必要があるが、当面は現状のままで必要に応じて改修する。		

※集約・複合化の検討について

分団統合により、詰所・格納庫等の集約も検討する

※公民連携の検討について

特になし

※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後10年以上使用 】

可能な限り現状で使用する

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

## 【個別票】

所管所属 消防本部

## 1 施設の概要

施設名称	第4分団消防詰所格納庫 青島	施設面積	49.00 m <sup>2</sup>
所在地	星鹿町青島免765番地2	建設年度(耐用年数)	1986 年度 (50年)
複合施設名	青島住民センター	構造・階数・耐震	鉄筋コンクリート造 2階 耐震有
特記事項			

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ 型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」		
当面は現状のまま、必要に応じて修繕する。		

## ※集約・複合化の検討について

特になし

## ※公民連携の検討について

特になし

## ※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

## ※国・県協働の検討について

特になし

## 3 目標使用年数 【 今後20年以上使用 】

可能な限り現状で使用する

## 4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

## 【個別票】

所管所属	消防本部
------	------

## 1 施設の概要

施設名称	第4分団消防格納庫 民宿川上横	施設面積	53.76 m <sup>2</sup>
所在地	星鹿町青島免785番地3	建設年度(耐用年数)	2000年度(24年)
複合施設名		構造・階数・耐震	木造 平屋 耐震有
特記事項			

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続		機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」			
当面は現状のままで、必要に応じて修繕する。			

## ※集約・複合化の検討について

特になし
------

## ※公民連携の検討について

特になし
------

## ※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし
------

## ※国・県協働の検討について

特になし
------

## 3 目標使用年数 【 今後10年以上使用 】

可能な限り現状で使用する
--------------

## 4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。 消防団詰所は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。
---

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属 消防本部

1 施設の概要

施設名称	第4分団消防格納庫 民宿川上上	施設面積	28.00 m <sup>2</sup>
所在地	星鹿町青島免	建設年度（耐用年数）	不明（年）
複合施設名		構造・階数・耐震	木造 平屋
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施	
「基本的な方針の考え方」			
当面は現状のままで必要に応じて修繕する			

※集約・複合化の検討について

特になし

※公民連携の検討について

特になし

※民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後5年以上使用 】

経過年数が不明であるが、機能を維持するための必要最小限の修繕を実施し、大規模修繕による建物の長寿命化や建て替え等を総合的に検討する。

4 管理に関する実施方針・課題等

分団により施行  
 目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
 大規模な修繕が必要となった場合は、周辺詰所との統合等も検討していく。  
 消防格納庫は、無人となるため盗難対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属	消防本部
------	------

1 施設の概要

施設名称	第5分団消防詰所格納庫	施設面積	81.00 m <sup>2</sup>
所在地	志佐町浦免1388番地1	建設年度(耐用年数)	1993 年度 (50年)
複合施設名	浦免公民館	構造・階数・耐震	鉄筋コンクリート 2階 耐震有
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施	
「基本的な方針の考え方」			
当面は現状のままで必要に応じて修繕する			

※集約・複合化の検討について

特になし

※公民連携の検討について

特になし

※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後25年以上使用 】

可能な限り現状で使用する

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属	消防本部
------	------

1 施設の概要

施設名称	第6分団消防詰所格納庫	施設面積	69.56 m <sup>2</sup>
所在地	志佐町浦免1734番地5	建設年度（耐用年数）	1993 年度（24年）
複合施設名		構造・階数・耐震	木造 2階 耐震有
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施	
「基本的な方針の考え方」			
当面は現状のまま、必要に応じて修繕する。			

※集約・複合化の検討について

特になし

※公民連携の検討について

特になし

※民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

耐用年数が経過しているが、機能を維持するための必要最小限の修繕を実施し、大規模修繕による建物の長寿命化や建て替え等を総合的に検討する。

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
大規模な修繕が必要となった場合は、周辺地区と協議し移転・建替え等も検討していく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

## 【個別票】

所管所属	消防本部
------	------

## 1 施設の概要

施設名称	第7分団消防詰所格納庫 庄野公民館横	施設面積	48.60 m <sup>2</sup>
所在地	志佐町庄野免647番地2	建設年度（耐用年数）	1994 年度 （24年）
複合施設名		構造・階数・耐震	木造 2階 耐震有
特記事項			

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続		機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」			
当面は現状のままで、必要に応じて修繕する。			

## ※集約・複合化の検討について

特になし

## ※公民連携の検討について

特になし

## ※民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

特になし

## ※国・県協働の検討について

特になし

## 3 目標使用年数 【 今後10年以上使用 】

耐用年数が経過しているが、機能を維持するための必要最小限の修繕を実施し、大規模修繕による建物の長寿命化や建て替え等を総合的に検討する。

## 4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
大規模な修繕が必要となった場合は、周辺地区と協議し移転・建替え等も検討していく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

## 【個別票】

所管所属	消防本部
------	------

## 1 施設の概要

施設名称	第7分団消防詰所格納庫 里家畜診療所横	施設面積	53.81 m <sup>2</sup>
所在地	志佐町里免200番地2	建設年度(耐用年数)	1998年度(24年)
複合施設名		構造・階数・耐震	木造 平屋 耐震有
特記事項			

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施	
「基本的な方針の考え方」			
当面は現状のままで必要に応じて修繕する			

## ※集約・複合化の検討について

特になし
------

## ※公民連携の検討について

特になし
------

## ※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし
------

## ※国・県協働の検討について

特になし
------

## 3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

可能な限り現状で使用する
--------------

## 4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。 消防団詰所は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。
---

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属	消防本部
------	------

1 施設の概要

施設名称	第8分団消防詰所格納庫 西山公民館裏	施設面積	40.57 m <sup>2</sup>
所在地	志佐町西山免418番地1	建設年度(耐用年数)	1992 年度 (24年)
複合施設名		構造・階数・耐震	補強コンクリートブロック 2階 耐震不明
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施	
「基本的な方針の考え方」			
当面は現状のままで必要に応じて修繕する			

※集約・複合化の検討について

特になし
------

※公民連携の検討について

特になし
------

※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし
------

※国・県協働の検討について

特になし
------

3 目標使用年数 【 今後10年以上使用 】

耐用年数が経過しているが、機能を維持するための必要最小限の修繕を実施し、大規模修繕による建物の長寿命化や建て替え等を総合的に検討する。
---

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。 大規模な修繕が必要となった場合は、周辺分団詰所との統合移転等も検討していく。 消防団詰所は、無人となるため盗難対策についても今後検討していく。
---

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

## 【個別票】

所管所属 消防本部

## 1 施設の概要

施設名称	第8分団消防詰所格納庫 白浜公民館	施設面積	30.00 m <sup>2</sup>
所在地	志佐町白浜免611番地1	建設年度(耐用年数)	不明 年度 (41年)
複合施設名	白浜集会場	構造・階数・耐震	コンクリートブロック造 2階 耐震不明
特記事項			

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施	
「基本的な方針の考え方」			
当面は現状のままで必要に応じて修繕する			

## ※集約・複合化の検討について

特になし

## ※公民連携の検討について

特になし

## ※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

## ※国・県協働の検討について

特になし

## 3 目標使用年数 【 今後10年以上使用 】

機能を維持するための必要最小限の修繕を実施し、大規模修繕による建物の長寿命化や建て替え等を総合的に検討する。

## 4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
大規模な修繕が必要となった場合は、周辺分団詰所との統合移転等も検討していく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属 消防本部

1 施設の概要

施設名称	第9分団消防詰所格納庫 笛吹	施設面積	61.02 m <sup>2</sup>
所在地	志佐町笛吹免1056番地9	建設年度(耐用年数)	1981 年度 (41年)
複合施設名		構造・階数・耐震	補強コンクリートブロック造 2階 耐震有
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ 型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施、詰所機能の統合を検討
「基本的な方針の考え方」		
当面は現状のままで必要に応じて修繕する		

※集約・複合化の検討について

詰所機能の統合を検討

※公民連携の検討について

特になし

※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後10年以上使用 】

可能な限り現状で使用する

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属 消防本部

1 施設の概要

施設名称	第9分団消防詰所格納庫 田ノ平公民館下	施設面積	45.36 m <sup>2</sup>
所在地	志佐町田ノ平免1311番地	建設年度（耐用年数）	1989 年度 （24年）
複合施設名		構造・階数・耐震	木造 平屋 耐震有
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施、詰所機能の統合を検討	
「基本的な方針の考え方」			
当面は現状のままで必要に応じて修繕する			

※集約・複合化の検討について

詰所機能の統合を検討

※公民連携の検討について

特になし

※民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後10年以上使用 】

耐用年数が経過しているが、機能を維持するための必要最小限の修繕を実施し、大規模修繕による建物の長寿命化や建て替え等を総合的に検討する。

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
大規模な修繕が必要となった場合は、周辺分団詰所との統合移転等も検討していく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属 消防本部

1 施設の概要

施設名称	第9分団消防格納庫 横辺田	施設面積	16.00 m <sup>2</sup>
所在地	松浦市横辺田免	建設年度(耐用年数)	1998 年度 (24年)
複合施設名		構造・階数・耐震	木造 平屋 耐震有
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ 型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施、詰所機能の統合を検討
「基本的な方針の考え方」		
当面は現状のままで必要に応じて修繕する		

※集約・複合化の検討について

詰所機能の統合を検討

※公民連携の検討について

特になし

※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

可能な限り現状で使用する

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
消防格納庫は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属 消防本部

1 施設の概要

施設名称	第9分団消防格納庫 長野公民館横	施設面積	16.00 m <sup>2</sup>
所在地	志佐町長野免2256番地1	建設年度(耐用年数)	1994 年度 (24年)
複合施設名		構造・階数・耐震	木造 平屋 耐震有
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ 型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施、詰所機能の統合を検討
「基本的な方針の考え方」		
当面は現状のままで必要に応じて修繕する		

※集約・複合化の検討について

詰所機能の統合を検討

※公民連携の検討について

特になし

※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

耐用年数が経過しているが、機能を維持するための必要最小限の修繕を実施し、大規模修繕による建物の長寿命化や建て替え等を総合的に検討する。

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
大規模な修繕が必要となった場合は、周辺分団詰所との統合移転等も検討していく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

## 【個別票】

所管所属	消防本部
------	------

## 1 施設の概要

施設名称	第9分団消防格納庫 稗木場公民館横	施設面積	13.90 m <sup>2</sup>
所在地	志佐町稗木場免1069番地7	建設年度(耐用年数)	2013 年度 (24年)
複合施設名		構造・階数・耐震	木造 平屋 耐震有
特記事項			

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施、詰所機能の統合を検討	
「基本的な方針の考え方」			
当面は現状のままで必要に応じて修繕する			

## ※集約・複合化の検討について

詰所機能の統合を検討
------------

## ※公民連携の検討について

特になし
------

## ※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし
------

## ※国・県協働の検討について

特になし
------

## 3 目標使用年数 【 今後20年以上使用 】

可能な限り現状で使用する
--------------

## 4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。 消防格納庫は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。
---

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属	消防本部
------	------

1 施設の概要

施設名称	第10分団消防詰所格納庫	施設面積	99.40 m <sup>2</sup>
所在地	志佐町高野免1169番地5	建設年度(耐用年数)	2006年度(24年)
複合施設名		構造・階数・耐震	木造 平屋 耐震有
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施	
「基本的な方針の考え方」			
当面は現状のままで必要に応じて修繕する			

※集約・複合化の検討について

特になし

※公民連携の検討について

特になし

※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

可能な限り現状で使用する

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

## 【個別票】

所管所属 消防本部

## 1 施設の概要

施設名称	第11分団消防詰所格納庫 調川駅前	施設面積	49.00 m <sup>2</sup>
所在地	調川町下免700番地4	建設年度(耐用年数)	1983年度(41年)
複合施設名		構造・階数・耐震	補強コンクリートブロック造 平屋 耐震有
特記事項			

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施、詰所機能の統合を検討	
「基本的な方針の考え方」			
当面は現状のままで必要に応じて修繕する			

## ※集約・複合化の検討について

詰所機能の統合を検討

## ※公民連携の検討について

特になし

## ※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

## ※国・県協働の検討について

特になし

## 3 目標使用年数 【 今後10年以上使用 】

可能な限り現状で使用する

## 4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

## 【個別票】

所管所属 消防本部

## 1 施設の概要

施設名称	第11分団消防詰所格納庫 下免	施設面積	48.87 m <sup>2</sup>
所在地	調川町下免1085番地2	建設年度(耐用年数)	1985年度 (41年)
複合施設名		構造・階数・耐震	コンクリートブロック造 平屋 耐震有
特記事項			

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施、詰所機能の統合を検討 「基本的な方針の考え方」  当面は現状のままで必要に応じて修繕する	

## ※集約・複合化の検討について

詰所機能の統合を検討

## ※公民連携の検討について

特になし

## ※民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

特になし

## ※国・県協働の検討について

特になし

## 3 目標使用年数 【 今後10年以上使用 】

可能な限り現状で使用する

## 4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属 消防本部

1 施設の概要

施設名称	第11分団消防詰所格納庫 旧市道沿	施設面積	60.12 m <sup>2</sup>
所在地	調川町平尾免34番地4	建設年度(耐用年数)	2010年度 (24年)
複合施設名		構造・階数・耐震	木造 平屋 耐震有
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ 型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施、詰所機能の統合を検討
「基本的な方針の考え方」		
当面は現状のままで必要に応じて修繕する		

※集約・複合化の検討について

詰所機能の統合を検討

※公民連携の検討について

特になし

※民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後20年以上使用 】

可能な限り現状で使用する

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

## 【個別票】

所管所属 消防本部

## 1 施設の概要

施設名称	第11分団消防詰所格納庫 上平尾公民館付近	施設面積	13.00 m <sup>2</sup>
所在地	調川町平尾免	建設年度(耐用年数)	2001年度(24年)
複合施設名		構造・階数・耐震	木造 平屋 耐震有
特記事項			

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ 型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施、詰所機能の統合を検討
「基本的な方針の考え方」		
当面は現状のままで必要に応じて修繕する		

## ※集約・複合化の検討について

詰所機能の統合を検討

## ※公民連携の検討について

特になし

## ※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

## ※国・県協働の検討について

特になし

## 3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

可能な限り現状で使用する

## 4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

## 【個別票】

所管所属 消防本部

## 1 施設の概要

施設名称	第1 2分団消防詰所格納庫 上免	施設面積	48.87 m <sup>2</sup>
所在地	調川町上免603番地	建設年度（耐用年数）	1986 年度 （41 年）
複合施設名		構造・階数・耐震	補強コンクリート造 平屋 耐震有
特記事項			

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ 型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施、詰所機能の統合を検討
「基本的な方針の考え方」		
当面は現状のままで必要に応じて修繕する		

## ※集約・複合化の検討について

詰所機能の統合を検討

## ※公民連携の検討について

特になし

## ※民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

特になし

## ※国・県協働の検討について

特になし

## 3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

可能な限り現状で使用する

## 4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

## 【個別票】

所管所属 消防本部

## 1 施設の概要

施設名称	第12分団消防詰所格納庫 松山田公民館下	施設面積	48.87 m <sup>2</sup>
所在地	調川町松山田免823番地4	建設年度(耐用年数)	1985年度(41年)
複合施設名		構造・階数・耐震	補強コンクリートブロック造 平屋 耐震有
特記事項			

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施、詰所機能の統合を検討 「基本的な方針の考え方」	
当面は現状のままで必要に応じて修繕する			

## ※集約・複合化の検討について

詰所機能の統合を検討

## ※公民連携の検討について

特になし

## ※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

## ※国・県協働の検討について

特になし

## 3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

可能な限り現状で使用する

## 4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属 消防本部

1 施設の概要

施設名称	第12分団消防詰所格納庫 七区ノ二	施設面積	18.00 m <sup>2</sup>
所在地	調川町下免700番地4	建設年度(耐用年数)	不明 年度 (年)
複合施設名	七区ノ二公民館併設	構造・階数・耐震	木造 平屋
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ 型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施、詰所機能の統合を検討
「基本的な方針の考え方」		
公民館と併設している。集約を図る際には移設等を検討していく。		

※集約・複合化の検討について

分団統合等の時期で集約を検討。地区との協議要。

※公民連携の検討について

特になし

※民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後10年以上使用 】

建築年が不明であるが耐用年数は経過していると推察する。  
10年後程度を目標に維持管理を行い、分団統合等の段階で移設等を検討する。

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属 消防本部

1 施設の概要

施設名称	第13分団消防詰所格納庫 浦免漁協先	施設面積	107.86 m <sup>2</sup>
所在地	今福町浦免444番地25	建設年度(耐用年数)	1999年度(24年)
複合施設名		構造・階数・耐震	木造 平屋 耐震有
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続		機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」			
当面は現状のままで必要に応じて修繕する			

※集約・複合化の検討について

特になし

※公民連携の検討について

特になし

※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

可能な限り現状で使用する

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

## 【個別票】

所管所属 消防本部

## 1 施設の概要

施設名称	第13分団消防詰所格納庫 飛島	施設面積	10.00 m <sup>2</sup>
所在地	今福町飛島免415番地	建設年度(耐用年数)	1977年度(24年)
複合施設名		構造・階数・耐震	木造 平屋 耐震無
特記事項			

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続		機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」			
耐震化を実施する必要があるが、当面は現状のままで必要に応じて修繕する			

## ※集約・複合化の検討について

特になし

## ※公民連携の検討について

特になし

## ※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

## ※国・県協働の検討について

特になし

## 3 目標使用年数 【 今後5年以上使用 】

耐用年数が経過しているが、機能を維持するための必要最小限の修繕を実施し、大規模修繕による建物の長寿命化や建て替え等を総合的に検討する。

## 4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
大規模な修繕が必要となった場合は、移転・建て替え等も検討していく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

## 【個別票】

所管所属 消防本部

## 1 施設の概要

施設名称	第14分団消防詰所格納庫 江迎公民館	施設面積	49.00 m <sup>2</sup>
所在地	今福町東免453番地	建設年度(耐用年数)	1984年度(41年)
複合施設名		構造・階数・耐震	コンクリートブロック造 平屋 耐震有
特記事項			

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続		機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」			
当面は現状のままで必要に応じて修繕する			

## ※集約・複合化の検討について

特になし

## ※公民連携の検討について

特になし

## ※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

## ※国・県協働の検討について

特になし

## 3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

可能な限り現状で使用する

## 4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

## 【個別票】

所管所属 消防本部

## 1 施設の概要

施設名称	第14分団消防詰所格納庫 浜の脇	施設面積	6.00 m <sup>2</sup>
所在地	今福町北免	建設年度(耐用年数)	2012年度(24年)
複合施設名		構造・階数・耐震	木造 平屋 耐震不明
特記事項			

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続		機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」			
当面は現状のままで必要に応じて修繕する			

## ※集約・複合化の検討について

特になし

## ※公民連携の検討について

特になし

## ※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

## ※国・県協働の検討について

特になし

## 3 目標使用年数 【 今後20年以上使用 】

可能な限り現状で使用する

## 4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

## 【個別票】

所管所属 消防本部

## 1 施設の概要

施設名称	第14分団消防詰所格納庫 滑栄公民館横	施設面積	48.87 m <sup>2</sup>
所在地	今福町滑栄免221番地	建設年度(耐用年数)	1984年度(41年)
複合施設名		構造・階数・耐震	コンクリートブロック造 平屋 耐震有
特記事項			

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続		機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」			
当面は現状のままで必要に応じて修繕する			

## ※集約・複合化の検討について

特になし

## ※公民連携の検討について

特になし

## ※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

## ※国・県協働の検討について

特になし

## 3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

可能な限り現状で使用する

## 4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

## 【個別票】

所管所属 消防本部

## 1 施設の概要

施設名称	第15分団消防詰所格納庫 寺上公民館横	施設面積	57.34 m <sup>2</sup>
所在地	今福町寺上免622番地4	建設年度(耐用年数)	1985年度(41年)
複合施設名		構造・階数・耐震	補強コンクリートブロック造 2階 耐震有
特記事項			

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施、詰所機能の統合を検討 「基本的な方針の考え方」  当面は現状のままで必要に応じて修繕する	

## ※集約・複合化の検討について

詰所機能の統合を検討

## ※公民連携の検討について

特になし

## ※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

## ※国・県協働の検討について

特になし

## 3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

可能な限り現状で使用する

## 4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

## 【個別票】

所管所属 消防本部

## 1 施設の概要

施設名称	第15分団消防詰所格納庫 木場公民館横	施設面積	45.36 m <sup>2</sup>
所在地	今福町木場免702番地1	建設年度(耐用年数)	1989年度(24年)
複合施設名		構造・階数・耐震	木造 平屋 耐震有
特記事項			

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施、詰所機能の統合を検討	
「基本的な方針の考え方」			
当面は現状のままで必要に応じて修繕する			

## ※集約・複合化の検討について

詰所機能の統合を検討

## ※公民連携の検討について

特になし

## ※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

## ※国・県協働の検討について

特になし

## 3 目標使用年数 【 今後15年以上使用 】

耐用年数が経過しているが、機能を維持するための必要最小限の修繕を実施し、大規模修繕による建物の長寿命化や建て替え等を総合的に検討する。

## 4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
大規模な修繕が必要となった場合は、周辺分団詰所との統合移転等も検討していく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属	消防本部
------	------

1 施設の概要

施設名称	第16分団消防詰所格納庫 伊万里釜	施設面積	259.16 m <sup>2</sup>
所在地	福島町塩浜免2163番地5	建設年度（耐用年数）	1991 年度 （50年）
複合施設名	伊万里釜消防センター	構造・階数・耐震	鉄筋コンクリート造 2階 耐震有
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ 型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」		
当面は現状のままで必要に応じて修繕する		

※集約・複合化の検討について

特になし

※公民連携の検討について

特になし

※民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後25年以上使用 】

可能な限り現状で使用する

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属	消防本部
------	------

1 施設の概要

施設名称	第16分団消防詰所格納庫 端・大山	施設面積	60.50 m <sup>2</sup>
所在地	福島町端免1692番地2	建設年度(耐用年数)	2003 年度 (50年)
複合施設名		構造・階数・耐震	鉄筋コンクリート造 平屋 耐震有
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施	
「基本的な方針の考え方」			
当面は現状のままで必要に応じて修繕する			

※集約・複合化の検討について

特になし

※公民連携の検討について

特になし

※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後25年以上使用 】

可能な限り現状で使用する

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属 消防本部

1 施設の概要

施設名称	第17分団消防詰所格納庫 播磨釜	施設面積	92.59 m <sup>2</sup>
所在地	福島町塩浜免2126番地4	建設年度(耐用年数)	2000 年度 (41年)
複合施設名		構造・階数・耐震	コンクリートブロック造 平屋 耐震有
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ 型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」		
当面は現状のままで必要に応じて修繕する		

※集約・複合化の検討について

特になし

※公民連携の検討について

特になし

※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後25年以上使用 】

可能な限り現状で使用する

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

## 【個別票】

所管所属 消防本部

## 1 施設の概要

施設名称	第17分団消防詰所格納庫 福崎	施設面積	66.46 m <sup>2</sup>
所在地	福島町塩浜免635番地1	建設年度(耐用年数)	2010年度(24年)
複合施設名		構造・階数・耐震	木造 平屋 耐震有
特記事項			

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ 型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」		
当面は現状のままで必要に応じて修繕する		

## ※集約・複合化の検討について

特になし

## ※公民連携の検討について

特になし

## ※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

## ※国・県協働の検討について

特になし

## 3 目標使用年数 【 今後25年以上使用 】

可能な限り現状で使用する

## 4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属 消防本部

1 施設の概要

施設名称	第18分団消防詰所格納庫 浅谷	施設面積	60.50 m <sup>2</sup>
所在地	福島町浅谷免916番地1	建設年度(耐用年数)	2000 年度 (41年)
複合施設名		構造・階数・耐震	コンクリートブロック造 平屋 耐震有
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ 型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」		
当面は現状のままで必要に応じて修繕する		

※集約・複合化の検討について

特になし

※公民連携の検討について

特になし

※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後25年以上使用 】

可能な限り現状で使用する

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属 消防本部

1 施設の概要

施設名称	第18分団消防詰所格納庫 土谷	施設面積	60.50 m <sup>2</sup>
所在地	福島町土谷免598番地2	建設年度(耐用年数)	2002 年度 (41年)
複合施設名		構造・階数・耐震	コンクリートブロック造 平屋 耐震有
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ 型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」		
当面は現状のままで必要に応じて修繕する		

※集約・複合化の検討について

特になし

※公民連携の検討について

特になし

※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後25年以上使用 】

可能な限り現状で使用する

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属 消防本部

1 施設の概要

施設名称	第19分団消防詰所格納庫 原	施設面積	97.30 m <sup>2</sup>
所在地	福島町原免1212番地	建設年度(耐用年数)	2004 年度 (50年)
複合施設名		構造・階数・耐震	鉄筋コンクリート造 平屋 耐震有
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続		機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」			
当面は現状のままで必要に応じて修繕する			

※集約・複合化の検討について

特になし

※公民連携の検討について

特になし

※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後25年以上使用 】

可能な限り現状で使用する

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属	消防本部
------	------

1 施設の概要

施設名称	第19分団消防詰所格納庫 鍋串	施設面積	68.40 m <sup>2</sup>
所在地	福島町鍋串免102番地74	建設年度(耐用年数)	2005 年度 (50年)
複合施設名		構造・階数・耐震	鉄筋コンクリート造 平屋 耐震有
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続		機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」			
当面は現状のままで必要に応じて修繕する			

※集約・複合化の検討について

特になし
------

※公民連携の検討について

特になし
------

※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし
------

※国・県協働の検討について

特になし
------

3 目標使用年数 【 今後25年以上使用 】

可能な限り現状で使用する
--------------

4 管理に関する実施方針・課題等

<p>目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。 消防団詰所は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。</p>
---

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属 消防本部

1 施設の概要

施設名称	第20分団消防詰所格納庫 里	施設面積	63.28 m <sup>2</sup>
所在地	福島町里免852番地4	建設年度(耐用年数)	1999 年度 (41年)
複合施設名		構造・階数・耐震	コンクリートブロック造 平屋 耐震有
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ 型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」		
当面は現状のままで必要に応じて修繕する		

※集約・複合化の検討について

特になし

※公民連携の検討について

特になし

※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後25年以上使用 】

可能な限り現状で使用する

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

## 【個別票】

所管所属	消防本部
------	------

## 1 施設の概要

施設名称	第20分団消防詰所格納庫 喜内瀬	施設面積	60.50 m <sup>2</sup>
所在地	福島町喜内瀬免249番地2	建設年度(耐用年数)	2002 年度 (41年)
複合施設名		構造・階数・耐震	コンクリートブロック造 平屋 耐震有
特記事項			

## 2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続		機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」			
当面は現状のままで必要に応じて修繕する			

## ※集約・複合化の検討について

特になし
------

## ※公民連携の検討について

特になし
------

## ※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし
------

## ※国・県協働の検討について

特になし
------

## 3 目標使用年数 【 今後25年以上使用 】

可能な限り現状で使用する
--------------

## 4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。 消防団詰所は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。
---

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属 消防本部

1 施設の概要

施設名称	第21分団消防詰所格納庫 阿翁浦北	施設面積	58.32 m <sup>2</sup>
所在地	鷹島町阿翁浦免637番地	建設年度(耐用年数)	1976 年度 (24年)
複合施設名		構造・階数・耐震	木造 2階 耐震なし
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施、詰所機能の統合を検討	
「基本的な方針の考え方」			
耐震化を実施する必要があるが、当面は現状のままで必要に応じて修繕する。			

※集約・複合化の検討について

詰所機能の統合を検討

※公民連携の検討について

特になし

※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後5年以上使用 】

耐用年数が経過しているが、機能を維持するための必要最小限の修繕を実施し、大規模修繕による建物の長寿命化や建て替え等を総合的に検討する。

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
大規模な修繕が必要となった場合は、周辺分団詰所との統合移転等も検討していく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属 消防本部

1 施設の概要

施設名称	第21分団消防格納庫 阿翁浦南	施設面積	20.28 m <sup>2</sup>
所在地	鷹島町阿翁浦免688番地1	建設年度（耐用年数）	不明 年度（年）
複合施設名		構造・階数・耐震	木造 平屋
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施、詰所機能の統合を検討	
「基本的な方針の考え方」			
耐震化を実施する必要があるが、当面は現状のままで必要に応じて修繕する。			

※集約・複合化の検討について

詰所機能の統合を検討

※公民連携の検討について

特になし

※民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後5年以上使用 】

耐用年数が経過しているが、機能を維持するための必要最小限の修繕を実施し、大規模修繕による建物の長寿命化や建て替え等を総合的に検討する。

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
大規模な修繕が必要となった場合は、周辺分団詰所との統合移転等も検討していく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属	消防本部
------	------

1 施設の概要

施設名称	第21分団消防詰所格納庫 阿翁	施設面積	68.72 m <sup>2</sup>
所在地	鷹島町阿翁免746番地1	建設年度（耐用年数）	1984 年度 （24年）
複合施設名		構造・階数・耐震	木造 2階 耐震有
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施、詰所機能の統合を検討	
「基本的な方針の考え方」			
当面は現状のままで必要に応じて修繕する。			

※集約・複合化の検討について

詰所機能の統合を検討

※公民連携の検討について

特になし

※民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後5年以上使用 】

耐用年数が経過しているが、機能を維持するための必要最小限の修繕を実施し、大規模修繕による建物の長寿命化や建て替え等を総合的に検討する。

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
大規模な修繕が必要となった場合は、周辺分団詰所との統合移転等も検討していく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属 消防本部

1 施設の概要

施設名称	第21分団消防詰所格納庫 黒島	施設面積	59.62 m <sup>2</sup>
所在地	鷹島町黒島免98番地1	建設年度(耐用年数)	1993 年度 (41年)
複合施設名		構造・階数・耐震	コンクリートブロック造 2階 耐震有
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ 型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施、詰所機能の統合を検討
「基本的な方針の考え方」		
当面は現状のままで必要に応じて修繕する		

※集約・複合化の検討について

詰所機能の統合を検討

※公民連携の検討について

特になし

※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後25年以上使用 】

可能な限り現状で使用する

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難防止対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属	消防本部
------	------

1 施設の概要

施設名称	第22分団消防詰所格納庫 中通	施設面積	59.62 m <sup>2</sup>
所在地	鷹島町中通免1890番地2	建設年度（耐用年数）	1979 年度（24年）
複合施設名		構造・階数・耐震	木造 2階 耐震なし
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施、詰所機能の統合を検討	
「基本的な方針の考え方」			
耐震化を実施する必要があるが、当面は現状のままで必要に応じて修繕する。			

※集約・複合化の検討について

詰所機能の統合を検討

※公民連携の検討について

特になし

※民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後5年以上使用 】

耐用年数が経過しているが、機能を維持するための必要最小限の修繕を実施し、大規模修繕による建物の長寿命化や建て替え等を総合的に検討する。

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
大規模な修繕が必要となった場合は、周辺分団詰所との統合移転等も検討していく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属	消防本部
------	------

1 施設の概要

施設名称	第22分団消防詰所格納庫 神崎	施設面積	57.96 m <sup>2</sup>
所在地	鷹島町神崎免1015番地1	建設年度（耐用年数）	1980 年度 （24年）
複合施設名		構造・階数・耐震	木造 2階 耐震なし
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施、詰所機能の統合を検討	
「基本的な方針の考え方」			
耐震化を実施する必要があるが、当面は現状のままで必要に応じて修繕する。			

※集約・複合化の検討について

詰所機能の統合を検討

※公民連携の検討について

特になし

※民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後5年以上使用 】

耐用年数が経過しているが、機能を維持するための必要最小限の修繕を実施し、大規模修繕による建物の長寿命化や建て替え等を総合的に検討する。

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
大規模な修繕が必要となった場合は、周辺分団詰所との統合移転等も検討していく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属	消防本部
------	------

1 施設の概要

施設名称	第22分団消防詰所格納庫 日比	施設面積	57.96 m <sup>2</sup>
所在地	鷹島町里免1334番地	建設年度（耐用年数）	1982 年度 （24年）
複合施設名		構造・階数・耐震	木造 2階 耐震なし
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施、詰所機能の統合を検討	
「基本的な方針の考え方」			
耐震化を実施する必要があるが、当面は現状のままで必要に応じて修繕する。			

※集約・複合化の検討について

詰所機能の統合を検討

※公民連携の検討について

特になし

※民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後5年以上使用 】

耐用年数が経過しているが、機能を維持するための必要最小限の修繕を実施し、大規模修繕による建物の長寿命化や建て替え等を総合的に検討する。

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
大規模な修繕が必要となった場合は、周辺分団詰所との統合移転等も検討していく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属	消防本部
------	------

1 施設の概要

施設名称	第22分団消防詰所格納庫 里石川	施設面積	57.96 m <sup>2</sup>
所在地	鷹島町里免332番地	建設年度（耐用年数）	1980 年度 （24年）
複合施設名		構造・階数・耐震	木造 2階 耐震なし
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施、詰所機能の統合を検討	
「基本的な方針の考え方」			
耐震化を実施する必要があるが、当面は現状のままで必要に応じて修繕する。			

※集約・複合化の検討について

詰所機能の統合を検討

※公民連携の検討について

特になし

※民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後5年以上使用 】

耐用年数が経過しているが、機能を維持するための必要最小限の修繕を実施し、大規模修繕による建物の長寿命化や建て替え等を総合的に検討する。

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
大規模な修繕が必要となった場合は、周辺分団詰所との統合移転等も検討していく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属 消防本部

1 施設の概要

施設名称	第23分団消防詰所格納庫 殿の浦	施設面積	57.96 m <sup>2</sup>
所在地	鷹島町中通免112番地2	建設年度（耐用年数）	1981 年度 （24年）
複合施設名		構造・階数・耐震	木造 2階 耐震なし
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施、詰所機能の統合を検討	
「基本的な方針の考え方」			
耐震化を実施する必要があるが、当面は現状のままで必要に応じて修繕する。			

※集約・複合化の検討について

詰所機能の統合を検討

※公民連携の検討について

特になし

※民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後5年以上使用 】

耐用年数が経過しているが、機能を維持するための必要最小限の修繕を実施し、大規模修繕による建物の長寿命化や建て替え等を総合的に検討する。

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
大規模な修繕が必要となった場合は、周辺分団詰所との統合移転等も検討していく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属	消防本部
------	------

1 施設の概要

施設名称	第23分団消防詰所格納庫 原	施設面積	57.96 m <sup>2</sup>
所在地	鷹島町原免653番地	建設年度（耐用年数）	1981 年度 （24年）
複合施設名		構造・階数・耐震	木造 2階 耐震なし
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施、詰所機能の統合を検討	
「基本的な方針の考え方」			
耐震化を実施する必要があるが、当面は現状のままで必要に応じて修繕する。			

※集約・複合化の検討について

詰所機能の統合を検討

※公民連携の検討について

特になし

※民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後5年以上使用 】

耐用年数が経過しているが、機能を維持するための必要最小限の修繕を実施し、大規模修繕による建物の長寿命化や建て替え等を総合的に検討する。

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
大規模な修繕が必要となった場合は、周辺分団詰所との統合移転等も検討していく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属	消防本部
------	------

1 施設の概要

施設名称	第23分団消防詰所格納庫 三里	施設面積	49.68 m <sup>2</sup>
所在地	鷹島町三里免519番地2	建設年度（耐用年数）	1979 年度（24年）
複合施設名		構造・階数・耐震	木造 2階 耐震なし
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施、詰所機能の統合を検討	
「基本的な方針の考え方」			
耐震化を実施する必要があるが、当面は現状のままで必要に応じて修繕する。			

※集約・複合化の検討について

詰所機能の統合を検討

※公民連携の検討について

特になし

※民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後5年以上使用 】

耐用年数が経過しているが、機能を維持するための必要最小限の修繕を実施し、大規模修繕による建物の長寿命化や建て替え等を総合的に検討する。

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
大規模な修繕が必要となった場合は、周辺分団詰所との統合移転等も検討していく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属	消防本部
------	------

1 施設の概要

施設名称	第23分団消防詰所格納庫 船唐津	施設面積	49.68 m <sup>2</sup>
所在地	鷹島町船唐津免833番地3	建設年度（耐用年数）	1977 年度 （24年）
複合施設名		構造・階数・耐震	木造 2階 耐震なし
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施、詰所機能の統合を検討	
「基本的な方針の考え方」			
耐震化を実施する必要があるが、当面は現状のままで必要に応じて修繕する。			

※集約・複合化の検討について

詰所機能の統合を検討

※公民連携の検討について

特になし

※民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後5年以上使用 】

耐用年数が経過しているが、機能を維持するための必要最小限の修繕を実施し、大規模修繕による建物の長寿命化や建て替え等を総合的に検討する。

4 管理に関する実施方針・課題等

目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。  
大規模な修繕が必要となった場合は、周辺分団詰所との統合移転等も検討していく。  
消防団詰所は、無人となるため盗難対策についても今後検討していく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

【個別票】

所管所属	防災課
------	-----

1 施設の概要

施設名称	調川防犯ボランティアセンター	施設面積	86.20 m <sup>2</sup>
所在地	調川町下免695-65	建設年度(耐用年数)	1993年度(22年)
複合施設名	なし	構造・階数・耐震	木造セメント造瓦葺平屋建
特記事項	H19年度取得(元調川派出所)		

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I	型	ソフト面ハード面とも良好
基本的な方針	存続		機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」			
今後も機能維持に努める			

※集約・複合化の検討について

特になし
------

※公民連携の検討について

特になし
------

※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし
------

※国・県協働の検討について

特になし
------

3 目標使用年数 【 今後25年以上使用 】

・可能な限り現状で使用する。
----------------

4 管理に関する実施方針・課題等

現状における課題は特になく、目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。
---

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支 出】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備 考
保守コスト	25	48	38	
運用コスト			0	
修繕コスト			0	
その他			0	
合 計	25	48	38	

【収 入】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備 考
利用料収入			0	
その他			0	
合 計	0	0	0	

【利用者等】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備 考
利用者数				把握していない
その他			0	

【個別票】

所管所属	消防本部
------	------

1 施設の概要

施設名称	消防本部庁舎	施設面積	2,912.44 m <sup>2</sup>
所在地	志佐町庄野免268番地3	建設年度(耐用年数)	2015年度(50年)
複合施設名	なし	構造・階数・耐震	鉄筋コンクリート造・2階・耐震有
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	I	型	ソフト面ハード面とも良好
基本的な方針	存続		機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」			
当面は現状のまま、必要に応じて改修する			

※集約・複合化の検討について

特になし

※公民連携の検討について

特になし

※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後25年以上使用 】

- ・可能な限り現状で使用する。

4 管理に関する実施方針・課題等

- ・平成27年度に建設した施設であり、現状における課題は特になく、目標年数まで機能維持のための修繕を実施し、適正な維持管理を図っていく。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)			
後 期 (R 8 - R 1 2)			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支 出】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備 考
保守コスト	791	872	1,061	電気工作物・エレベータ
運用コスト	7,081	6,836	7,136	光熱水、ガス費、電話通信関係費
修繕コスト			118	訓練室A C、外灯修理
その他				
合 計	7,872	7,708	8,315	

【収 入】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備 考
利用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	

【利用者等】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備 考
利用者数				
その他				

【個別票】

所管所属	消防本部
------	------

1 施設の概要

施設名称	消防署鷹島出張所	施設面積	118.40 m <sup>2</sup>
所在地	鷹島町中通免309番地3	建設年度（耐用年数）	1973 年度（38年）
複合施設名	なし	構造・階数・耐震	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造・平屋・耐震なし
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	Ⅱ	型	ハード面で改善必要
基本的な方針	存続		建替えを実施

「基本的な方針の考え方」

市の防災拠点であり、今後も維持すべき施設である。地盤沈下等もあり、施設の内部・外部とも老朽化が著しく、場所の移転、建替えを行う。

※集約・複合化の検討について

鷹島支所、公民館との集約・複合化を検討したが、老朽化が著しいため単独で建替えを実施

※公民連携の検討について

特になし

※民間等（町内会等を含む）への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 】

令和6年度の建替え完了まで使用する。

4 管理に関する実施方針・課題等

市の防災拠点であり、今後も維持すべき施設である。地盤沈下等もあり、施設の内部・外部とも老朽化が著しく、場所の移転、建替えを実施する。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)	基本設計・実施設計	32,000	R5実績額 40,357千円
	建設工事	218,000	
後 期 (R 8 - R 1 2)			

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支 出】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備 考
保守コスト				
運用コスト	656	670	660	光熱水、ガス、灯油、汲取料
修繕コスト	22			屋外配管の水漏れ
その他				
合 計	678	670	660	

【収 入】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備 考
利用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	

【利用者等】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備 考
利用者数				
その他				

【個別票】

所管所属	消防本部
------	------

1 施設の概要

施設名称	消防署福島出張所	施設面積	145.92 m <sup>2</sup>
所在地	福島町塩浜免2993番地87	建設年度(耐用年数)	1972年度(38年)
複合施設名	なし	構造・階数・耐震	鉄骨コンクリート造・平屋・耐震なし
特記事項			

2 管理に関する基本的な方針

施設の評価	IV	型	ソフト面・ハード面ともに改善必要
基本的な方針	存続		建替えを検討

「基本的な方針の考え方」

市の防災拠点であり、今後も維持すべき施設である。施設の内部・外部とも老朽化が著しく、建替えが必要となっている。

※集約・複合化の検討について

福島支所、福島公民館との集約・複合化を図る。

※公民連携の検討について

特になし

※民間等(町内会等を含む)への譲渡の検討について

特になし

※国・県協働の検討について

特になし

3 目標使用年数 【 今後5年程度使用 】

建替え等を総合的に検討する。

4 管理に関する実施方針・課題等

市の防災拠点であり、今後も維持すべき施設である。施設の内部・外部とも老朽化が著しく、建替えが必要となっている。

5 管理に関する大規模な改修・修繕等実施計画

年 度	大規模な改修・修繕等の内容	概算額（千円）	備 考
前 期 (R 3 - R 7)	(基本設計、地質調査)	(20,000)	3 施設合同庁舎計画
後 期 (R 8 - R 1 2)	(実施設計)	(20,000)	3 施設合同庁舎計画
	(建設工事)	(587,000)	3 施設合同庁舎計画
	(解体工事)	(110,000)	3 施設合同庁舎計画

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支 出】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備 考
保守コスト	47	47	47	浄化槽保守点検・清掃
運用コスト	563	623	586	光熱水、ガス、灯油、汲取料
修繕コスト		321		トイレ老朽化による改修
その他				
合 計	610	991	633	

【収 入】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備 考
利用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	

【利用者等】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備 考
利用者数				
その他				